

(指導教員) 明星 太郎

99T1-001 明星 一郎 99T1-002 明星 二郎

1. はじめに

A4版白紙を使用し，上下の空白は20mm，左右の空白は左25mm，右10mmに取る。本文は原則として9ポイントの文字を使用する。文字数は原則52字(26字/1段×2)×60行とする。ただし，1行目は表題とし，12ポイントの文字を使用する。表題欄の左端より予め決められた発表番号05

(12ポイント，半角文字，右下に掲載)を記入し，表題のみ中央に配置する。表題が長い場合は2行にわたって記載する。表題より下2行目には指導教員の名前並びに外部機関に指導又は研究協力をお願いしている場合には，外部指導者又は研究協力者の所属と氏名も記入する。指導教員の下に行には発表者の学籍番号と名前を列挙する。人数が多い場合には2行にわたって記載する。本文は，学生名の下3行目より開始する。本文は2段組とし，余白設定後に書式 段組で段の幅22.61字，間隔2.02字に設定する。

2. 章と節

各章の題目の前には全角の番号を付け，左寄せする。また，その上に1行の空白を設ける。

2.1節の題目 節の題目の前には半角の数字とピリオドを用いた節番号を付け，左寄せする。また，節の題目にはアンダーラインを引く。なお，本文は節の題目より2列空白の後に記載する。

3. 数字とアルファベット

文章中の数字とアルファベットは原則として，半角文字とする。

4. 図のタイトル

図のタイトルは，図の下部に一例として次のように記載する。

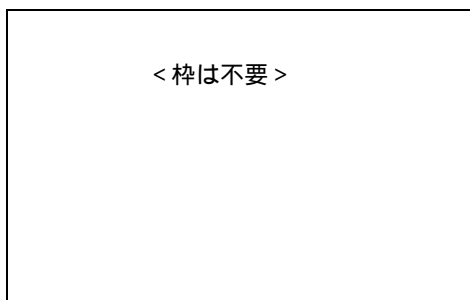


図1 FEMメッシュ

5. 表のタイトル

表のタイトルは，表の上部に一例として次のように記載する。

表1 実験試料の詳細

Table with 5 columns and 4 rows, representing experimental material details.

図表は縮小しすぎると文字が読めなくなります。また，拡大しすぎると本文が少なくなりますので注意してください。図や写真は貼り付けてもかまいませんが，剥離しないように注意してください。

6. 数式

数式は数式作成ツールを用いて作成する。数式作成ツールがない場合は，イタリック体で作成する。もしくは，コピーしたものを切り張りしても良い。

Partial differential equation: \frac{\partial^2 T}{\partial t^2} = \kappa \left(\frac{\partial^2 T}{\partial x^2} + \frac{\partial^2 T}{\partial y^2} \right) (1)

ただし，Tは温度(K)，tは時間(s)，・・・を示す。式中の記号の説明も記載ください。

7. おわりに

本章は，卒業研究を実施した結果，得られた成果をまとめて箇条書きにするとよい。

参考文献

本文中の引用箇所⁽¹⁾には，文章の右肩に小括弧を付した番号を記入し，原著文献を明記すること。

(1)明星太郎,機論,48-435,C(1997),210-205.

Power pointあるいはOHPの作成について

- (1) 1画面の説明時間：約1分の説明内容とする。
(2) 1画面の内容：1つのテーマの内容とする。盛りだくさんにしない。
(3) 文字・記号のサイズ：10mm角以上
(4) 文字の行数：13行以内。
(5) 文字の太さ：1mm以上
(6) カラー印字あるいはカラーサインペンの使用により，部分的な強調を図るとよい。
(7) 題目を含む序あるいは目次を1枚にするとよい。
(8) 最後に"まとめ"を箇条書きにした1枚にするとよい。

発表番号は研究室ごとに以下の通りとなる。

- 石井研 05ISI_01 ~ , 江川研 05EGW_01 ~
緒方研 05OGT_01 ~ , 亀井研 05KMI_01 ~
齋藤研 05SIT_01 ~ , 濱口研 05HMG_01 ~
宮田研 05MYT_01 ~ , 宮本研 05MYM_01 ~
山口研 05YMG_01 ~ , 山崎研 05YMZ_01 ~
山中研 05YMN_01 ~ , 山本研 05YMM_01 ~
山口・緒方研 05YMG・OGT_01 ~
プロジェクト 05PRJ_ _01 ~